

# 第5期米沢市水道事業中期経営計画

令和4年度～令和8年度

米沢市上下水道部

## 目次

1	計画策定の趣旨	1
2	基本事項	
(1)	計画の位置づけ	1
(2)	計画の期間	1
(3)	事業運営の基本方針	1
3	第4期中期経営計画（平成29～令和3年度）の評価	
(1)	経営指標による評価	2
(2)	事業計画の評価	3
4	主要事業計画	
(1)	事業の体系	6
(2)	具体的取組の概要	7
5	中期財政収支計画	
(1)	水需要予測	11
(2)	収益的収支	11
(3)	資本的収支	12
(4)	設備投資計画	12
(5)	企業債残高	13
(6)	中期指標	13
6	目標達成の評価等	
(1)	公表時期	13
(2)	公表方法	13
(3)	公表内容	13

## 1 計画策定の趣旨

本市の水道事業は、昭和 27 年度から 8 次にわたる拡張事業を行ってきましたが、第 7 次拡張事業（昭和 61 年度まで）までに布設された送配水管や配水池などの更新が必要な時期を迎えます。

また、水需要の動向については、人口減少や節水機器普及などにより減少傾向となることが予想され、今後の料金収入も年々減少していくことが見込まれます。

このような厳しい経営環境のなか、平成 29 年 3 月に策定した「第 4 期米沢市水道事業中期経営計画」に基づき、健全経営に向けて取り組んでいますが、引き続き効率的で安定した経営を継続していくため、「第 5 期米沢市水道事業中期経営計画」を策定するものです。

## 2 基本事項

### (1) 計画の位置づけ

中期経営計画は、本市の総合計画である「米沢市まちづくり総合計画 基本構想」（平成 28 年度～令和 7 年度）を踏まえ策定した水道事業の中・長期計画となる「米沢市新水道事業ビジョン（中間見直し）」（令和 4 年度～令和 8 年度）の実施計画として位置付けます。

### (2) 計画の期間

「米沢市新水道事業ビジョン（中間見直し）」の計画期間である令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。

### (3) 事業運営の基本方針

ア 「安全」 すべてのお客さまに安全でおいしい水道水を供給する水道

イ 「強靱」 自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

ウ 「持続」 給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

### 3 第4期中期経営計画（平成29～令和3年度）の評価

#### （1）経営指標による評価

中期指標（数値目標）

（単位：％）

項 目		年度	目 標	実 績	検 証
有収率	総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。	H29	87.70	82.70	各年度、目標に達しませんでした。引き続き漏水対策に取り組むなど、有収率向上に向け取り組んでいきます。
		H30	88.00	85.53	
		R元	88.30	82.13	
		R2	88.60	81.44	
総収支比率	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。	H29	120.67	123.86	令和2年度を除き、目標を達成しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る経済対策の一環として、基本料金の減免を行ったことから収益が減少し、達成できませんでした。
		H30	120.49	125.25	
		R元	120.20	122.50	
		R2	119.07	106.11	
営業収支比率	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。	H29	115.39	117.95	令和2年度を除き、目標を達成しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る経済対策の一環として、基本料金の減免を行ったことから収益が減少し、達成できませんでした。
		H30	115.02	119.24	
		R元	115.57	116.31	
		R2	113.26	99.11	
職員給与費対料金収入比率	料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。	H29	11.63	11.27	令和元年度は人事異動に伴う退職積立金の増加により、達成できませんでした。 また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る経済対策の一環として、基本料金の減免を行ったことから収益が減少し、達成できませんでした。
		H30	11.71	11.32	
		R元	11.76	12.56	
		R2	11.88	13.39	
収納率	使用された水量にかかる料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。	H29	94.41	95.16	令和2年度を除き目標を達成しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い地域経済が落ち込んだ影響もあり、達成できませんでした。
		H30	94.43	94.85	
		R元	94.45	94.84	
		R2	94.47	94.13	

## (2) 具体的取組についての評価

具体的取組の評価基準を次のように設定し、事業毎にA（良好）、B（普通）、C（要改善）、D（再検討）の判定を行いました。

- A：計画時期において、事業が適正に実施されている又はされたもの。
- B：計画時期において、事業が適正に実施されている又はされたものであるが、事業内容に一部改善の余地があるもの。
- C：計画時期において、事業に遅れが生じている、又は目標となる成果が未達であるなど、取組み内容を早急に見直す必要があるもの。
- D：計画時期において、事業を取りやめる又は当面実施を見合わせたものなど、個別事業の再検討が必要なもの。

### 第4期米沢市水道事業中期経営計画 中間評価一覧表

	基本施策	具体的取組 (事業名)	計画時期 (年度)	計画期間中 (H29~R3) の主な実績 * R3は見込み	具体的取組について の評価
安 全	①水管理体制の強化	ア 水安全計画の策定	H29~R元	H29：着手 R 2：策定 R 3：運用	A
		イ 水質検査計画の策定・公表	H29~	H29に策定以降、毎月公表	A
	②良質な水の追求	ア 老朽管更新	H29~R2	H29：L=1902.4m 老朽管更新耐震化 H30：L=1593.3m 〃 R元：L= 788.5m 〃 R 2：L= 522.5m 〃 R 3：L= - 老朽管更新事業R2で完了	A
		イ 鉛製給水管交換	H29~	H29：353件 H30：232件 R元：260件 R 2：124件 R 3：300件（見込み）	A
		ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言	H29~	H29~：簡易水道検査結果報告に基づき指導助言を実施	B
	③自己水源（地下水）の保全	ア 自己水源の点検・整備	H29~	H29：動作確認、水質検査実施 H30：同上及び成島水源を17日間稼働した。 R元~：水質検査及び点検整備実施	A
強 靱	④管路の計画的更新 (耐震化)	ア 重要管路の耐震化	H29~	H29：L=585.7m 重要管路の耐震化 H30：L=1249.3m 〃 R元：L= 1137.9m 〃 R 2：L=845.6m 〃 R 3：L=1,313m（見込）	A
		ア アセットマネジメントの実施	H29~	H29~：アセットマネジメントを実施し、計画的に老朽管の更新を実施	A
	⑤施設の計画的更新 (耐震化)	イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	H29~	H29：配水池の耐震性能評価を実施 H30~：館山配水池及び小野川配水池の簡易診断を実施	B
ウ 館山配水池の更新		R 2~R 3	R 2：新配水池用地測量業務を実施 R 3：用地購入及び新配水池実施設計(予定)	B	

## 第4期米沢市水道事業中期経営計画 中間評価一覧表

	基本施策	具体的取組 (事業名)	計画時期 (年度)	計画期間中 (H29～R3) の主な実績 * R3は見込み	具体的 取組に ついて
強 靱	⑥応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備 (見直し)	H29～	H29: 対応マニュアルの緊急時連絡網等を整備 H30: 湧水対策マニュアルの見直し及び策定 R元～: 各種マニュアルの見直しを行った。	A
		イ マニュアルに沿った 訓練の実施	H29～	H29: 市総合防災訓練において応急復旧訓練を実施 H30: 未実施 (市総合防災訓練の中止による) R元: 防災訓練の実施 R2: 置賜広域水道応急給水訓練等の実施 R3: 未実施	A
持 続	⑦施設規模の適正化	ア 配水計画の見直し	H29～	H29: 1市2町と同意に向けた協議を実施(協議中) H30: 館山浄水場廃止の場合における県水受水に向 けた協議を実施 (協議中) R元: 県及び1市2町と同意に向けた協議を実施 R2: 県及び1市2町と同意に向けた協議を実施 R3: 県企業局と事業の詳細を協議中	B
		イ 館山配水区受水施設 整備	H29～R3	H29: 館山配水区受水施設基本計画策定業務の実施 及び新館山配水池の計画策定に着手 H30: 関係市町の同意に向け協議を実施 (協議中) R元: 市議会へ館山浄水場廃止後のリスク対策など の事業説明を行った。また、日本水道協会に 技術診断を委託して評価を受けた。 R2: 新配水池用地測量業務契約締結 R3: 用地購入、整備実施設計発注 (見込)	C
	⑧事業経営の効率化	ア 民間委託の推進	H29～	H29: 水道料金等収納業務委託の更新に向けた対象 業務見直しを実施 H30: 水道施設運転管理業務及び水道料金収納等 業務の民間委託を実施 R元: 給排水窓口業務の民間委託を実施 R2～: 水道料金収納等業務について、安定的運用 を目的として3年間の長期継続契約を締結	A
		イ 簡易水道事業経営の あり方の検討	H29～	H29: 経営状況等について地元代表者と協議 H30～: 検討中	B
		ウ 広域化の調査・研究	H29～	H29: 県と連携し、広域化の可能性について検討 H30: 置賜広域連携検討会(県主催)で圏域市町の 施設更新及び財政シミュレーションを実施 R元: 上記検討会において、施設の共同設置等の シミュレーションパターンを検討を実施 R2: シミュレーションパターンを作成し、検討会 に報告 R3: R2に引き続き広域化の検討を行う。	A
	⑨職員研修の充実	ア 各種研修への参加	H29～	H29～: 日本水道協会、公的機関及び日本経営協会 等が主催する各種研修会に参加	A
		イ 指定給水装置工事事業 者の研修の実施	H29～	H29: 実施 H30～: 未実施	D
⑩水道料金の適正化	ウ 適正な水道料金の算定	H30	H30: 水道事業経営審議会より答申を受け、令和元 年10月の消費税改定に合わせ料金改定を実施 することとした。 R元: 料金改定を実施 R2: 上下水道事業経営懇談会に経営状況等を説明 R3: 同上	A	

	基本施策	具体的取組 (事業名)	計画時期 (年度)	計画期間中 (H29~R3) の主な実績 * R3は見込み	具体的 取組に ついて
持 続	⑩水道料金の適正化	エ 料金体系の検討	H29~	H29：未実施 H30：水道事業等運営審議会で審議し、新料金体系において通増の幅を小さくすることとした。 R元：上記を踏まえた料金改定を実施 R2~：上下水道事業経営懇談会に経営状況等を説明	A
		⑪料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	H29~	H29~：適切な債権管理に努めた。
	⑫お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入	H29~	H29：HPに申込方法を掲載し、Eメールによる受付を開始（実績21件） H30：Eメール受付実施（実績93件） R元：Eメール受付実施（実績143件） R2：Eメール受付実施（実績202件） R3：Eメール受付実施中	B
		イ 広報・ホームページによる情報提供	H29~	H29：各種イベントや緊急的な情報をHPに掲載 H30：水道事業概要（経営ビジョン・決算情報含む）の公開及びH30.8に発生した濁水における情報展開及び各種手続き方法の周知した。 R元：料金改定及び各種手続き方法の周知した。 R2：料金の基本料金減免について、市公式フェイスブック、LINE及びスマホアプリ「モバ支所」により周知した。 R3：各種広報について、適宜情報発信中	A
		ウ 水道事業独自の広報紙の発行	H29~	H29：よねざわ水道だより創刊号を発行 H30：第2号を発行 R元：臨時号の発行及び米沢上下水道だよりに改称し、第3号を発行 R2：第4号及び第5号を発行 R3：第6号及び第7号を発行（見込）	A
		エ 水道事業経営懇談会の開催	H29~	H29：第1回及び第2回を開催（任期:H29-30） H30：第3回を開催 R元：第1回及び第2回を開催（任期:R元-2） R2：第3回を開催 R3：第1回及び第2回を開催（7/2時点:任期:R3-4）	A
		オ 水道施設見学会の実施	H29~	H29：実施（1回） H30：実施（1回） R元：実施（1回） R2~：未実施（新型コロナウイルス感染症の影響による）	A
		カ イベント出展等によるPR	H29~	H29~R元：米沢市生涯学習フェスティバルに出展 R2~：未実施（新型コロナウイルス感染症の影響による）	A
	⑬水資源の有効活用	ア 漏水調査	H29~	H29：配水管：L=230km 戸別（給水管）：1,700戸 H30：配水管：L=170km R元：配水管：L=200km R2：配水管：L=200km R3：実施中	B
		イ 漏水修繕	H29~	H29：漏水修理 130件 H30：同上 160件 R元：同上 128件 R2：同上 137件 R3：実施中	B
	⑭環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効活用	H29~	H29~H30：浄水発生土を再生砕石に流用し、リサイクル実施 R元~：浄水発生土を埋戻し材とし、リサイクル実施	A
		イ 建設発生土のリサイクル	H29~	H29~：建設発生土を埋戻し材とし、一部リサイクル実施	B
		ウ 省エネ行動の実践	H29~	H29~：事務用品のグリーン購入やこまめな室温管理、早期のクールビズ推奨を実施	A

## 4 主要事業計画

### (1) 事業の体系

	基本施策	具体的取組
安 全	①水質管理体制の強化	ア 水安全計画の運用 イ 水質検査計画の策定・公表
	②良質な水の追求	ア 鉛製給水管交換 イ 貯水槽水道設置者への指導・助言
	③非常用水源(地下水)の保全	ア 非常用水源の点検・整備
強 靱	④管路の耐震化	ア 重要管路の耐震化 イ 基幹管路の耐震化
	⑤水道施設(*)の計画的更新 *管路及び構造物・設備	ア アセットマネジメントに基づく計画的な水道施設の更新 イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定 ウ 館山配水池の更新
	⑥応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し) イ マニュアルに沿った訓練の実施
持 続	⑦施設規模の適正化	ア 配水計画の随時(適時)見直し イ 館山配水区受水施設整備
	⑧事業経営の効率化	ア 民間委託の推進 イ 簡易水道事業経営のあり方の検討 ウ 置賜圏域における広域化の調査・検討
	⑨職員研修の充実	ア 各種研修への参加
	⑩水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定 イ 料金体系の検討
	⑪料金収納率の向上	ア 債権管理の強化
	⑫お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入等利便性の向上 イ 広報・ホームページ等による情報提供 ウ よねざわ上下水道だよりの発行 エ 上下水道事業経営懇談会の開催 オ インターネットへのPR映像掲載 カ 水道施設見学会の実施 キ 市主催イベント出展による水道事業のPR
	⑬水資源の有効利用	ア 漏水調査の実施 イ 漏水修繕の実施
	⑭環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用 イ 建設発生土のリサイクル ウ 省エネ行動の実践

(2) 具体的取組の概要

◇ 安 全 ～安全でおいしい水道水の供給をめざして～			
①水質管理体制の強化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 水安全計画の運用	水安全計画に基づき、信頼性(安全性)の高い水道水を供給していきます。	継続	R 4～
イ 水質検査計画の 策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	R 4～
②良質な水の追求			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	R 4～
イ 貯水槽水道設置者への 指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	R 4～
③非常用水源（地下水）の保全			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 非常用水源の点検・ 整備	非常用水源として、地下水源の点検・整備を行います。	継続	R 4～

◇ 強 靱 ～強靱で安心できる水道をめざして～			
④管路の耐震化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 重要管路の耐震化	米沢市地域防災計画による災害拠点・病院・避難所等に供給する重要管路について、重要施設耐震化事業計画に基づき、耐震化を図ります。	継続	R 4～
イ 基幹管路の耐震化	上記アに合わせて、基幹管路の耐震化を図ります。	新規	R 4～

⑤水道施設の計画的更新（耐震化）			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア アセットマネジメントに基づく計画的な水道施設の更新	アセットマネジメントを実施し、老朽施設（管路を含む。）の計画的な更新を図ります。	継続	R 4～
イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	継続	R 4～
ウ 舘山配水池の更新	老朽化した舘山配水池を更新します。 （※⑦イ舘山配水区受水施設整備に合わせて更新します。）	継続	R 4～
⑥応急体制の強化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 各種マニュアルの整備（見直し）	水質汚染事故、地震、濁水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	R 4～
イ マニュアルに沿った訓練の実施	災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	R 4～

◇ 持 続 ～健全な水道経営をめざして～			
⑦施設規模の適正化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 配水計画の随時（適時）見直し	水需要等の予測を適切に行い、必要に応じて配水計画を随時（適時）見直します。	継続	R 4～
イ 舘山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から舘山配水区への受水施設を整備します。	継続	R4～R8
⑧事業経営の効率化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	R 4～

イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業の経営のあり方を検討します。	継続	R 4 ~
ウ 置賜圏域における広域化の調査・検討	置賜圏域における水道事業の広域化について調査・検討を行います。	継続	R 4 ~
⑨職員研修の充実			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	R 4 ~
⑩水道料金の適正化			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 適正な水道料金の算定	令和6年度以降の水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	R 5
イ 料金体系の検討	現在採用している逡増型料金体系を検証し、今後の料金体系について検討します。	継続	R 4 ~
⑪料金収納率の向上			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	R 4 ~
⑫お客さまサービスの充実			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア インターネットによる各種手続きの導入等利便性の向上	各種申込みや支払いなどの手続きについて、インターネットを用いた方法の導入拡大を検討し、利便性の向上に努めます。	継続	R 4 ~
イ 広報・ホームページ等による情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページ、SNS等を活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	R 4 ~

ウ よねざわ上下水道だ よりの発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、よねざわ上下水道だよりを発行します。	継続	R 4 ~
エ 上下水道事業経営懇 談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、上下水道事業経営懇談会を開催します。	継続	R 4 ~
オ インターネットへの PR 映像掲載	「安心安全でおいしい水道水」を PR するため、PR 映像を作成しインターネット上への掲載を行います。	新規	R 4 ~
カ 水道施設見学会の実 施	バーチャル施設見学など、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R 4 ~
キ 市主催イベント出展 による水道事業の PR	「オ インターネットへの PR 映像掲載」事業として実施するなど、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R 4 ~
<b>⑬水資源の有効利用</b>			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 漏水調査の実施	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	R 4 ~
イ 漏水修繕の実施	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	R 4 ~
<b>⑭環境対策の推進</b>			
事業名	事業概要	新規 継続	実施予定 時期
ア 浄水発生土の有効利 用	浄水過程で生じる汚泥（浄水発生土）の有効利用を図ります。	継続	R 4 ~
イ 建設発生土のリサイ クル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	R 4 ~
ウ 省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	R 4 ~

## 5 中期財政収支計画

### (1) 水需要予測

(単位：人、m<sup>3</sup>)

	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
給水人口	77,378	76,705	76,037	75,376	74,720
年間総配水量	9,499,855	9,413,154	9,275,745	9,164,055	9,053,460
1日平均配水量	26,027	25,719	25,413	25,107	24,804

### (2) 収益的収支

(単位：千円、税抜)

		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	1 営業収益	1,729,933	1,721,733	1,713,574	1,705,456	1,697,378
	(1) 料金収入	1,639,933	1,631,733	1,623,574	1,615,456	1,607,378
	(2) その他	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
	2 営業外収益	122,873	122,323	122,323	122,323	122,323
	(1) 補助金	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236
	(2) 長期前受金戻入	116,137	116,137	116,137	116,137	116,137
	(3) その他	5,500	4,950	4,950	4,950	4,950
	収入計	1,852,806	1,844,056	1,835,897	1,827,779	1,819,701
支 出	1 営業費用	1,606,259	1,607,258	1,572,383	1,579,583	1,858,711
	(1) 職員給与費	211,632	211,632	211,632	211,632	211,632
	(2) 経費	928,040	946,040	922,040	925,340	1,203,040
	(3) 減価償却費	466,587	449,586	438,711	442,611	444,039
	2 営業外費用	18,626	16,283	13,890	11,498	9,263
	(1) 支払利息	16,126	13,783	11,390	8,998	6,763
	(2) その他	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	支出計	1,624,885	1,623,541	1,586,273	1,591,081	1,867,974
経常損益	227,921	220,515	249,624	236,698	△48,273	
特別損益	0	0	0	△180,000	△270,000	
当年度純利益	227,921	220,515	249,624	56,698	△318,273	

※R8の支出1営業費用(2)経費には、館山浄水場の除却費を含む。

## (3) 資本的収支

(単位：千円、税込)

		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	1 企業債	0	0	0	0	0
	2 他会計負担金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	3 国・県補助金	32,467	14,733	22,500	37,100	0
	4 その他	22,184	21,074	20,020	19,019	18,068
	収入計	55,651	36,807	43,520	57,119	19,068
支 出	1 建設改良費	915,139	786,169	738,588	639,311	499,800
	2 企業債償還金	114,490	116,832	119,225	114,358	107,013
	支出計	1,029,629	903,001	857,813	753,669	606,813
不足する額		973,978	866,194	814,293	696,550	587,745
内部留保資金残高		4,865,012	4,622,337	4,445,566	4,188,578	3,354,256

## (4) 設備投資計画

(単位：千円、税込)

	事業名	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
1	館山配水区受水施設 整備事業	325,556	436,289	204,111	204,111	
2	重要施設耐震化事業	339,450	167,156	148,570	290,200	354,800
3	配水管布設・布設替 事業	200,000	100,000	100,000	100,000	100,000
4	施設、機器・計器等整 備事業	45,133	69,133	259,633	40,000	40,000
5	営業設備	5,000	13,591	26,274	5,000	5,000
計		915,139	786,169	738,588	639,311	499,800

## (5) 企業債残高

(単位：千円)

区 分	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
残 高	745,960	629,128	509,903	395,545	288,532

(6) 中期指標

(単位:%)

項 目	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
有収率	82.81	83.49	84.17	84.85	85.53
総収支比率	114.03	113.58	115.74	103.20	85.11
営業収支比率	108.10	107.12	108.98	107.97	91.32
職員給与費対 料金収入比率	12.90	12.97	13.03	13.10	13.17
収納率	94.60	94.62	94.64	94.66	94.68

有収率：総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。

総収支比率：総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

営業収支比率：営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

職員給与費対料金収入比率：料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。

収納率：使用された水量にかかる料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。

## 6 目標達成の評価等

### (1) 公表時期

毎年度決算後 10月

### (2) 公表方法

市ホームページで公表します。

### (3) 公表内容

中期経営計画の進捗状況及び目標（中期指標）の達成状況